

千葉県で豚流行性下痢 (PED) 発生 (今期 2 例目)

1月25日(木)、千葉県(県北東部)で今期(9月以降)2例目の発生がありました。本病は、気温の低い冬季に発生が多く、今後も強い寒波の到来により発生の危険が高まる恐れがあります。

引き続き十分な警戒の下、衛生管理と消毒の徹底をお願いします。

1 発生の概要

発生日	1月25日(木)
発生農場	1農場(県北東部) *新規
飼養頭数	肥育豚 530頭
発生頭数	肥育豚 50頭
症状	水様性泥状下痢、食欲不振

2 経緯

- 1月24日 家畜飼養者から家畜保健衛生所(家保)へ異状の通報。
家保職員が立入り病性鑑定を実施。
- 1月25日 遺伝子検査結果及び臨床診断から PED と確認。

《今季の全国の発生状況》(平成30年1月24日現在、千葉県除く)
茨城県7件、群馬県1件、愛知県1件、熊本県1件、宮崎県1件

※今期は新規の発生が多くなっています。

《感染防止のためをお願いしたいこと》

- ・ 農場入口で、車両も人も必ず消毒(動力噴霧器等で念入りに)
- ・ 豚出荷時は、と畜場出口・農場出入口の両方で、車両・人の消毒の徹底
- ・ 衛生管理区域専用衣服、靴(ブーツカバー)の着用、手指の消毒
- ・ 豚舎ごとの専任作業員、専用器具、専用作業衣・長靴の使用
- ・ 豚舎内に持ち込む物(医薬品、袋状飼料等)の外装の消毒
- ・ ワクチンの適切な使用(妊娠豚への2回接種、適切な衛生管理)
- ・ 異状発見時の速やかな通報